

## 石の上にも三年

むろだて  
室館 勲  
いさお

株式会社潮流社代表取締役社長  
株式会社キャリアコンサルティング代表取締役社長

4月にとあるテレビ番組にて、退職代行会社が特集されていました。自分で会社に退職の意向を伝えられない人がそんなにも多く、退職代行サービスが事業になるほどニーズがあることに大変驚きました。

特集されていた退職代行会社には、4月1日からの15日までの間で678件の問い合わせがあったそうです。さらにそのうちの110件は、驚くことに4月に新卒で入社したばかりの新入社員だったそうです。代行会社へ問い合わせをした人数だけでも110名ということは、さらに何十倍、何百倍の新社会人が退職していることが想像できます。入社してわずか15日でそれほどの退職希望の方がいるという事実には衝撃を受けました。

退職の理由は人それぞれですが、圧倒的に多いのが「合わない」「イメージと違う」「希望している部署に配属されなかった」というものだそうです。実際には細かい不満も含めて、さまざまな理由があって退職を希望すると思います。退職することが絶対にダメだとは思いませんし、全面的に否定するつもりもありません。しかし、「石の上にも三年」という言葉が昔から言い伝えられているのは、理由があると思います。

すぐに退職してしまう新入社員の特徴は「想定が甘い」ことだと思います。私がキャリアコンサルティングで就活をしている学生に再三言っていることは「学生がイメージする労働観と実社会にはギャップがあるに決まっている」ということです。大体の企業は新卒で入社した新入社員に最初から成果を求めません。大企業では1年以上を研修に費やすところもあります。この間は会社の戦力にならない状態で、誰かが稼いできたお金からお給料をいただいている状態です。最低でも自分に投資してもらったその期間の分の利益をもたらししてから退職するのが筋なのではないかと思います。

最近はやりがキャリアアップという言葉をよく耳にします。キャリアアップというと新しい知識を学び、成長して転職を繰り返していくというイメージを持つ方も多

と思います。しかし実際に、自分を一番成長させてくれるのは壁にぶつかって苦しんだ経験だと思います。市場であまり有名ではない商品を販売するには、それなりの営業努力が必要です。いわゆる合わない上司や同僚に出会ったときも、距離の取り方やネガティブな感情にならない方法を学ぶことができます。厳しい上司に叱られる経験もそのときは辛いですが、忍耐力や胆力を身につける絶好の機会になるでしょう。100点満点の企業も0点の企業もあります。本気でキヤリアップをしたいのであれば、今いる職場の仕事や人間関係のすべてが成長への糧になると思います。

そもそもお給料をいただいて仕事をするということは、キツくて大変な辛いことをするものだという事です。楽しくて勉強になり、笑いが絶えない状況を望んでいるのであれば、それはもはや仕事ではないので自分でお金を払って獲得するものです。働くということは、誰もできない、もしくはやりたくないことを代わりにやって貢献し、その対価として報酬をいただくということをわかってほしいと思います。

若手社員のうちは「上司から命令をされる」「命令どおりに動く」「報告する」の3つが基本です。ところが最近では上司が命令口調だとパワハラだと言ったり、命令どおりに動く仕事は面白くないという若手がいるようですが、仕事を根本から勘違いしていると思います。会社には遊びに来ているわけではありません。そういう社員には「仕事をナメるな」と強く言いたくなります。

私から新卒で入社する社員に伝えたいことは「3年は辞めるな」ということです。合わないからこそ学べるものがたくさんあります。「苦労は買ってでもしろ」とはよく言ったものです。配属に関しても、それぞれの会社には事情があります。内定を出してから入社まで長いと1年以上の期間があります。その間に会社の状況も変わりますので、今必要な場所に配属されるのは当たり前です。希望の部署があるのであれば希望が叶うように努力を重ねればいいだけの話です。3年続けてそれでもしっくりこないのであれば、新しい職場を求められるのも選択肢のひとつとしてありだと思います。古臭いと言われるかもしれませんが「石の上にも三年」「苦労は買ってでもしろ」という言葉は人生を豊かにするうえで非常に大切な言葉だと思います。この前提を理解したうえで一生懸命働き、それでも新しい道を選びたい場合の転職はやむなしだと思います。ちなみにそんな私は新卒で入社したスーパーマーケットを、将来、社長になりたいと1年で退職しましたので、迷惑をかけた分、恩返しをしています。

